



東高祭を終えて

2年6組 松本 開成

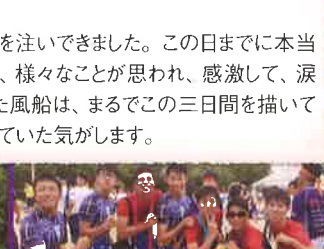
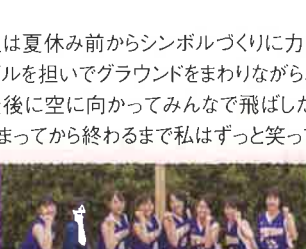
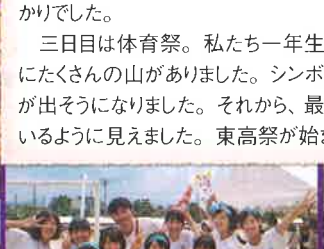
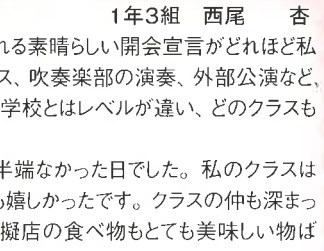
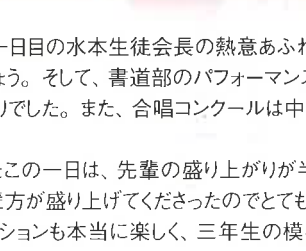
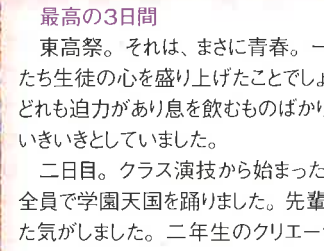
楽しいことは一瞬で過ぎるものですが、今年の東高祭は昨年にも増してそれがより一層顕著に感じられた年だなと思います。

今回の東高祭にあたり、僕は文化委員という文化祭関連のまとめ役という役職に臨むことになりました。みんなを上手くまとめることができるか、多少の不安を抱えていましたが、いざ準備が始まってみると、その心配は全くの杞憂に終わりました。まとめ役が何かするまでもなく、クラスの一人一人が自らすべきことを考え自ら行動するからです。短い準備期間の中、あれよあれよと片付いていく作業の山を見ると、人ごとのように、やはりイベント時の東高生のエネルギーには目を見張るものがあると感じます。

嵐のような忙しさを抜け、向かえた本番。初日で芸術を味わい、二日目に個性を弾けさせ、三日目で縦横無尽に暴れ、そして夕べの集いで三日間溜め込んだ想いを爆発させる。清々しい気分で全てを終え教室に戻り感じるの、やはり楽しい！ということ。ただひたすらに楽しかった、それ以外に言葉は見つかりませんでした。学校全体で声を枯らし、服を汚し、持てる限りのものを全て搾り尽くした今回の東高祭には、きっと一人一人が輝いたきれいな青春アンサンブルが奏でられていたと思います。今でも東高祭の残残は色濃く残っていますが、それをただの思い出に留めることなく、自らの進む方向へ傾けていけたらと思います。

東高祭 ③ 日目

2018.9.6.THU 鳥取東高校 第一グラウンド



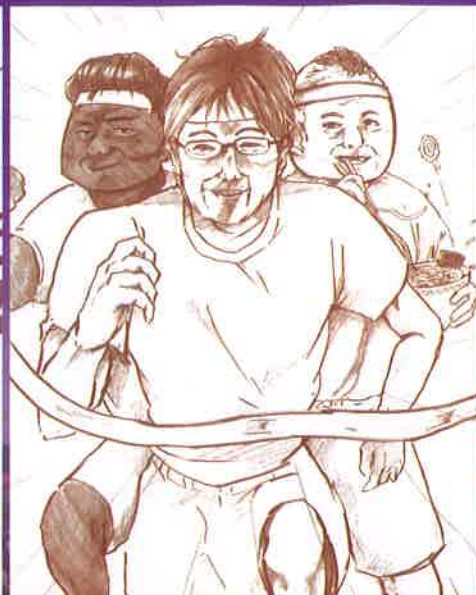
最高の3日間

東高祭。それは、まさに青春。一日目の水本生徒会長の熱意あふれる素晴らしい開会宣言がどれほど私たち生徒の心を盛り上げたことでしょう。そして、書道部のパフォーマンス、吹奏楽部の演奏、外部公演など、どれも迫力があり息を飲むものばかりでした。また、合唱コンクールは中学校とはレベルが違い、どのクラスもいきいきしていました。

二日目。クラス演技から始まったこの一日は、先輩の盛り上げがりが半端なかった日でした。私のクラスは全員で学園天国を踊りました。先輩方が盛り上げてくださったのでとても嬉しかったです。クラスの仲も深まった気がしました。二年生のクリエーションも本当に楽しく、三年生の模擬店の食べ物もとても美味しい物ばかりでした。

三日目は体育祭。私たち一年生は夏休み前からシンボルづくりに力を注いできました。この日までに本当にたくさんの山がありました。シンボルを担いでグラウンドをまわりながら、様々なことが思われ、感激して、涙が出そうになりました。それから、最後に空に向かってみんなで飛ばした風船は、まるでこの三日間を描いているように見えました。東高祭が始まってから終わるまで私はずっと笑っていた気がします。

1年3組 西尾 杏



pamphlet illustration: 森田 真帆(2-7)

pamphlet illustration:
中垣 綾乃(3-3)

人権コラム 虹のしっぽ

愛と夢

障害を有する長男の再就職がきまり、ホッとしている。彼が小学生の頃、発達障害に関する情報や、支援は今より少なく、何とかして、困り感に気づき、心を重ねたいとの思いで、あらゆる書物を読んでいた。ある本に、学習障害【LD】で【L】は、love、【D】は、dream と、読んでみるのは、どうだろう。子どもは、愛と夢の固まりなのだから。と書かれてあった。それを読み、そうだね。と涙が出る程嬉しく、猛反省したのを、覚えている。周囲と同じようにできない、問題行動が多いと言われ、悩み続け辛い毎日だった。しかし、できなくて困っているのは、彼らの方なのだ、差異を受け入れ、認めようとしていなかったのは、私なのだと気付かされたのであった。東高の生徒も、人権【LHR】で、あなたの問題を通して、私をしる。をテーマに、学んでいる。社会問題は、日々進行形であるため、明確な答えは存在せず、学ぶ1人1人が、主体的に考え解決策を、練り築いて行くための意義ある学びであると考え。学びを深め、その中で気づきを大切にしたい。人それぞれの中に、文化はある。価値観もことなる。そして誰も、人を愛する、愛されるという自然な思いを、持っている。全ての人が、愛と夢を持ち、幸せに生きていける社会を求め続けている。求めるだけでなく、与えていけるようになりたいですね。花には、水を。人には、心を、でしたか。

*人権コラム「虹のしっぽ」について

虹にしっぽなんてあるわけないと決めつけないで…。もしもあるなら見つけてみたい。考えるだけで楽しい気分になりませんか？

卒業生からのメッセージ



横浜国立大学 経営学部 経営学科

吉田 歩美 (平成28年度卒業)



今、センター試験などの各種試験に向けて、不安や緊張とともに日々を過ごしている人が多いのではないのでしょうか。

今回、大学がどういった場所なのか書かせていただきました。少しでもモチベーションの向上を助けられたらと思います。

まず、知識面のことですが、大学は高校より専門的なことを学びます。そのため、教授が話す内容も、教科書や参考書の中身も、一筋縄ではいかないような難しさがあります。しかし、その分の手応えや知識、技術が身につく、それが達成感へと繋がっていきます。

私は大学で主にマーケティングについて学んでいます。もちろん、マーケティングだけでなく、マネジメントや人事といった経営学の他分野の授業や、他学部の基礎を少し学ぶことができる一般教養と呼ばれる授業など、マーケティングを軸に幅広く様々なことを学んでいます。大変そうに聞こえる人もいるかも知れませんが、楽だとは言いませんが、自分の知らないことを吸収することで、高校の時とは比べ物にならないくらい世界が広がります。

また、知識の面だけではなく、価値観の面でも世界が広がります。

大学は地方大学であろうと、都市部の大学であろうと、全国各地から人が集まっています。やりたいことが一緒でもその業界が違い、また、その逆もあります。考え方や感じ方、将来の目標など、自分と異なる人がいて、自分と同じ人もいます。しかし、全く同じ、という人は滅多にいません。自分と異なる人と一緒にいて、くだらないことでも真剣なことでも、色んなことを話せば、「そういう考え方もできるのか」と目から鱗が落ちるようなことがたくさんあります。

他にも部活やサークル、バイト、ゼミなどで初めての経験をすることが多く、とても充実した日々を送ることができます。

しかし、これらは大学を妥協せずに選び、進学した結果でもあります。

「この大学に行きたい」という気持ちを強く持ち、最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。



一・二年生の保護者のための 進路セミナー

研修部 副部長 勝田 仁美



進路セミナー(2年生)

東高祭が終わり秋分の候、保護者に向けての進路セミナーが一年生、二年生それぞれ開催されました。一年生は、二年生になるに向けて文理選択という大事な決断を迎え、二年生は、大学受験に向けて具体的な選択科目や志望大学を考えるに当たっての心構えを中心に講義が行われました。

高校に入学して喜びも束の間、その先に向けてしっかり情報収集しながら日々コツコツと努力し続けなければなりません。しかしそれは簡単なことではないと実感している方も多いのではないのでしょうか。

講師の先生から、生徒の現状や課題、進路選択に向けての具体的な道筋、そのために今やるべきことなど、卒業生の実体験も交えながら多角的な面からお話がありました。

子どもの決断を尊重し、時にはともに悩み、支え最後まで粘り強くやりきれよう、「今から」を考えたセミナーとなりました。



進路セミナー(1年生)

鳥取大学 オープンキャンパス訪問

研修部 部長 田中 雅彦



十月六日(土)、鳥取大学オープンキャンパスに参加しました。鳥取東高プログラムで小倉特命教授の講義を聞くことができました。参加者は、保護者14名、生徒40名でした。

小倉特命教授より進路する目的が現時点で職業に直結しなくてもやりがいを感じること、興味があることを考えて、「学科→学部→大学」の順で決めてほしい。今後入試改革が実施されますが、大事なことは変わらないので、これまでと同じように学習をすればよいとのことでした。

在学生による学生生活紹介を聞きまし「就職活動について」のテーマで、鳥取東高出身者の話を聞くことができました。就職率も99%とのことでした。大学生活はとても楽しそうでした。

今後も保護者も学び、子どもにアドバイスができるPTA研修部の活動ができればと考えています。



食育講演会

健康生活部 菅生 涼子



十月十三日(土)、東高コモンホールにおいて、健康生活部主催の食育講演会が開催されました。講師には、公認スポーツ栄養士の山田恭子さんにお越しいただき、「大切にしたい思春期の食事」学習やスポーツで最高のパフォーマンスを発揮するために」という演題でお話をしていただきました。

子どもたちは毎日、学習や部活動に全力で頑張っています。そんな子どもたちの学力や練習の質をさらに向上させるために、バランスの取れた食事がどれだけ大切かということ、Jリーグからジュニアまでたくさんの栄養指導のご経験をもとに熱く語ってください、すぐにお話に引き込まれてしまいました。特に、「怪我をしやすい」「疲れが取れない」「集中力が落ちる」「風邪をひきやすい」といった、子どもたちにとって切実な症状に合わせた食事の改善策や、サプリメントに頼りすぎることの注意点などは大変参考になりました。もう少しで親元を離れていく子どもたち、食生活の大切さを伝えることができるのは、今しかない」と改めて気づかせていただいた、大変有意義な講演会になりました。



《人権教育部》 鳥盲体験ツアー

九月一日(土)、鳥取盲学校で「鳥盲体験ツアー」が行われ、人権教育部も参加しました。

興味はあってもなかなか盲学校を訪れる機会もなかったのですが、今回の催しで初めて盲学校を訪れることができました。学校の様子や視覚障害の方のスポーツ、点字体験、アイマススクでの歩行体験、視覚障害を擬似的に体験できるメガネをかけて、見えにくさを実際に体験するコーナーもありました。盲学校の生徒さんの音楽演奏などもあり、たくさんのお話を体験し、触れ合えた一日でした。

また、午後は全盲の落語家、桂福点さんの高座もあり、ユーモアの中にも普段目の不自由な方が感じておられる本当の思いや願いなどをお聞きすることができました。

障害のある方のお話をただでなく、私たちの普段の生活を振り返る良いきっかけになりました。

☆フロアバレーボール



・前列の目かくしをした人にボディタッチで合図しながら、心の交流があったか楽しくかったです。

☆サウンドテーパーレナ



・盲学校の生徒さんたちと対戦したら、完敗でした。かすかな音で球の方向や位置を認識できる能力に、圧倒されました。

☆アイマススク歩行体験



・普段、何気なく歩く廊下でも、目かくしをして歩くと、不安がいっぱいで付き添ってくれる人との信頼関係が大切だと思いました。



県内初の快挙!!

最優秀賞受賞!!

河野裕子短歌賞「青春の歌」部門

最優秀賞

干からびたカエルをよけてすすみゆく

ばいばい、わたしは夏をのりきる

石名 萌さん (二年)

河野裕子短歌賞「青春の歌」部門 入選作品

歩くたびどんどん近づく分かれ道
オレンジ色はさよならのとき

石田 あゆみさん (二年)

強くなれもつと強くなれ
サーブ打つ瞬間 たったひとりのわたし

松本 美幸さん (二年)

夏空を涼しげに飛ぶセキレイよ
ぼくは遠くへ行けるだろうか

平尾 大貴さん (一年)

最優秀校賞も受賞!!

優れた歌を多数投稿した学校を表彰する
「最優秀校」にも、鳥取東高校が選ばれました!!

日中交流事業

国際交流を通じて学んだこと

1年1組 松尾 紗夏

私は、姉や兄が何度も国際交流に参加しているのを身近で見ている、自然に自分も参加したいと思うようになりました。ホームステイの受け入れだけではなく、自らも行きたいと思い、今回「日中交流事業」の一員として中国を訪れました。訪問前、環境上の問題から不安なこともありましたが、実際訪れてみると不安もなくなるくらい県の職員の方がサポートしてくださったり、交流先の学校の方々が温かく迎えてくださり、充実した訪問になりました。

現地の学校で感じたことは、勉強量の多さです。朝早くから学校が始まり、夜間学習もあり、帰宅後も夜遅くまで勉強すると聞いて、とても驚きました。

今回の訪問でとても刺激になり、また交流するためには現地の学生のような努力が必要だと感じ、今回の事業の全ての事に感謝し、今後に生かしていきたいと思っています。



東北訪問

東北訪問に参加して

2年2組 源 悠斗

皆さんは、最近家の防災用品の点検をしましたか?



一昨年の鳥取県中部地震の直後は定期的に確認していたけれど、それっ

きりという人も多いと思います。東日本大震災も同じことが言えます。震災から七年経ち、風化させないため、災害が多くなっている今に生かせることを学ぶため、僕は東北訪問に参加しました。

活動を通してひとつ心に残ったことがあります。「震災の教訓を得て積み重ねていく今が、未来を救った地域の歴史とな

るように私たちは最大限の努力をしなければならぬ」という現地の方の言葉です。大船渡高校の生徒と交流をし、日々の備えをするということが最大限でできる努力だと考えました。実際に日頃から学校で訓練していた子どもたちが始めに避難を開始し、それを見た大人が、自分たちもと行動した結果、助かったという話も聞きました。

この東北訪問を通して、しっかりと備えることが、自分に出来る最大限の努力をすることが人々の意識の風化を防ぎ、自分だけでなく周りの人の命も守ることができることを学びました。

文化部の活動・保護者様からのmessage

生徒会執行部

「生徒に親しみやすい生徒会」を目指し、仲間と共に、「もんく箱」の設置、球技大会や東高祭など様々な活動に取り組みました。企画、運営する側の大変さは、やった人しか分からないものです。しかし、その大変さを越える充実感があった三年間だったことでしょう。この体験は、必ずこれからの人生の宝になると思います。お疲れ様でした。(保護者 水本千賀子)

吹奏楽部

第59回全日本吹奏楽コンクール中国大会
団体 高校の部 銅賞

多くの楽器で奏でる吹奏楽の魅力にのめり込み、いつものように5回目の夏が過ぎると思っていた8月、とても手が届かないと諦めかけていた憧れの舞台に立つことが出来た。中学の頃から挑戦し僅差で逃し何度も涙をのんできた。あの悔しさにキッパリと別れを告げた。そして再び涙が溢れた。しかし、あの時とは全く違う感動と歓びが全身を包んだ。きっと娘も同じ想いだったのだろう。こんなに熱くなるなんて。「第59回全日本吹奏楽コンクール中国大会」出場おめでとう。倉敷市民会館のあのステージで合奏出来た事を…。(竹中里奈の父より)



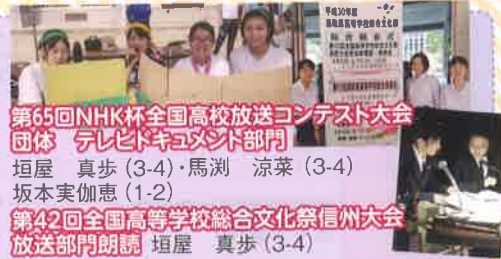
英語部

第7回HPDU新緑杯
高校生パラマントリー
デベート大会出場



放送部

部員が少ないながらも毎日発声練習を頑張っていたようです。映像製作では、普段は関わることのない役所や企業の方々に何度もお話を伺い、いい経験をしているなど思いながら見ていました。良き仲間と話し合いながら楽しく頑張れたこと、全国大会まで温かく導いてくださった顧問の先生に本当に感謝しています。(垣屋真歩の母より)



第65回NHK杯全国高校放送コンテスト大会
団体 テレビビジュアル部門

垣屋 真歩 (3-4)・馬淵 涼菜 (3-4)
坂本実恵恵 (1-2)

第42回全国高等学校総合文化祭信州大会
放送部門朗読 垣屋 真歩 (3-4)

邦楽部

第38回近畿高等学校総合文化祭徳島大会
日本音楽部門 参加

新入生歓迎会で邦楽部の演奏を聴いて、「すごかったよかった!!」と入部を決意。私も箏の生演奏は聴いた事がなく、初めて聴いた時、体に響いてくる音に感動したのがついこの間のようです。部活動で得た色々な経験はきっとこれからの人生の財産となってくれるかと思います。(保護者 佐古 千里)



書道部

第20回席上揮毫大会
第27回国際高校生選抜書展
第60回大東文化大学全国書道展

西尾 かの子 (2-3) 最優秀賞 (県1位相当)
谷尾 寧音 (3-5) 秀作賞
谷尾 寧音 (3-5) 第60回記念大賞



『書』というものは、これほど人を感動させ、多くの人を結びつけるものであると、私達保護者も心からそう感じています。本当に充実した三年間でしたね。これまで書道部を指導してくださった先生方、様々な場面で支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。(保護者 石谷 和子)

演劇部

鳥取県高等学校総合文化祭
第46回演劇発表会 最優秀賞 中国大会出場

演出家の中屋敷法仁氏は高校演劇の魅力について「アマチュアリズムだと思えます。高校演劇は絶対に二度とできない。高校生の体はまだ悩んでいて、そこが面白い。」と語っています。高校生活で演劇に費やした経験がこれからの人生にプラスの影響を与えてくれると信じて、今後も我が子にエールを送り続けたいと思います。(保護者)



美術部

中学から6年間、友だちとの会話を楽しみながらも、多くの作品を作り上げてきましたね。最後の作品は文化祭の展示品でした。夏休みで終わらず文化祭ギリギリまでかかって制作しました。作品を見て、すぐに苦勞して制作したことが伝わってきました。これからも美術を楽しんでほしいと思います。(美術部 母より)



将棋同好会

第42回全国高等学校総合文化祭
信州大会将棋部門 予選リーグ

澤田 涼風 (1-3) 2勝2敗 予選敗退
西尾愛花里 (1-5) 1勝3敗 予選敗退

第27回全国高等学校文化連盟
将棋新人戦鳥取県予選

澤田 涼風 (1-3) 準優勝 全国大会出場
栗原 司 (2-7) 5位 中国大会出場
石破 京介 (1-1) 7位 中国大会出場
辻 佑也 (1-4) 8位 中国大会出場



高校に入ったら帰宅部かなあ…と思っていた息子が「実は前から興味があった。」と入った将棋同好会。同級生がいなくて息子一人。先輩方がいなくなったらなくなる?と心配していましたが、新年度になって入部者があり、ホッとしました。

将棋を通して心も成長していく姿を頼もしく思います。(栗原 司の母より)

茶道部

最後の文化祭当日、部員が少ない中互いに声を掛け準備する姿を見て「今日で終わりだなあ」と少しさみしい気持ちになりました。そして、お点前を見て心のこもったお茶をいただき一生懸命がんばる姿には頼もしく感じました。良き仲間・顧問の先生に恵まれ本当に充実した三年間でした。高校生活でのたくさんの経験を大切に、これからの人生を歩んで行ってほしいです。(茶道部保護者)



家庭部



科学部



華道部



部落解放研究部

親として、我が子が解放研に入っていることを誇りに思っています。また、お互いに支えあっていた多くの仲間感謝します。私も東高解放研OBであり、今も差別と向き合って生きています。それでよかったと思っており、これからもそう生きていこうと思っています。娘が東高解放研で3年間を過ごせたこと、またたくさんの考える時間を与えていただいたことに感謝します。本当にありがとうございました。(保護者 福田 和博)



文芸部



文芸部は
いつでもあなたを歓迎します。

平成30年度 運動部の全国大会結果

部 名	大 会 名	種目・部門及び氏名等	結果・成績
柔 道	全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会	・男子団体 中砂 友希(3-6)・芦川 丈治(3-1)・小林 岳(2-1)・ 塩谷 丈(2-2)・南部 耕佑(2-6)・小林 晴(1-7)	1回戦敗退
		・男子個人 60kg級 原田 康生(3-6) 90kg級 小林 岳(2-1) 100kg級 塩谷 丈(2-2) 100kg超級 南部 耕佑(2-6)	1回戦敗退 〃 〃 〃
		・女子個人 78kg超級 河野 志織(3-6)	2回戦進出
ボート	全国高等学校総合体育大会 ボート競技大会	・男子舵手付クオドルブル 安井 奏太(3-2)・小西 真央(3-3)・田中 創大(3-4)・ 徳田 翔(3-5)・國本 和輝(3-7)・中溝陽奈太(3-7)・ 南條 達哉(3-7)	準決勝進出
	第73回国民体育大会 ボート競技	・少年男子舵手付クオドルブル 安井 奏太(3-2)・徳田 翔(3-5)・前田 開(2-2)・ 博田 凌太(2-6)・中村 晴人(2-6)	準決勝進出
テニス	全国高等学校総合体育大会 テニス競技大会	・男子シングルス 橋川 蒼生(2-7)	1回戦敗退
水 泳	全国高等学校総合体育大会・ 日本高等学校選手権 水泳競技大会	・個人 1500m自由形 山本 真(3-5) 100m平泳ぎ 本田 航平(2-1) 200m平泳ぎ 本田 航平(2-1)	予選落ち 〃 14位
	第73回国民体育大会	200m平泳ぎ 本田 航平(2-1)	予選落ち
ビーム ライフル	平成30年度(第56回) 全国高等学校ライフル射撃 競技選手権大会	ビームライフル少年女子立射40発 石名 萌(1-7) ビームライフル少年男子立射60発 田中 蓮(1-7) ビームライフル少年男子立射60発 津村 威緒(1-5)	137位 157位 159位

サッカー

第97回全国高校サッカー選手権大会鳥取県大会

・男子 3位

第53回鳥取県高校サッカー新人戦

・男子 ベスト8

第27回全日本高等学校女子サッカー選手権大会鳥取県予選会

・女子 準優勝 (中国地域予選出場)

第27回全日本高等学校女子サッカー選手権大会中国地域予選会

・女子 1回戦敗退

第53回鳥取県高校サッカー新人戦

・女子 3位

弓 道

第60回鳥取県高等学校弓道新人戦

・男子団体 Aチーム 8位 (中国大会出場)

小椋 丈洋(2-7)・馬淵 雄羽(2-7)・今本 大弥(1-5)・
前田 凌(1-7)

第26回中国高等学校弓道新人大会

・男子団体

福田 健人(2-1)・馬淵 雄羽(2-7)・今本 大弥(1-5)・
前田 凌(1-7) 団体決勝1回戦敗退

ビームライフル

鳥取県高等学校ライフル射撃競技新人大会

・団体 2位

坂田 光穂(1-1)・津村 威緒(1-5)・石名 萌(1-7)

・男子個人

・ビームライフル立射60発

津村 威緒(1-5) 2位 (中国大会出場)

青木 柊斗(1-3) 5位 (中国大会出場)

大旗 玲至(1-7) 6位 (中国大会出場)

・ビームピストル立射60発 田中 蓮(1-7) 2位 (中国大会出場)

・女子個人

・エアライフル立射40発 石名 萌(1-7) 1位 (中国大会出場)

・ビームライフル立射40発 石名 萌(1-7) 1位 (中国大会出場)

・ビームピストル立射40発 坂田 光穂(1-1) 1位 (中国大会出場)

第3回中国高等学校ライフル射撃競技新人大会

・男子個人

・ビームライフル立射60発

津村 威緒(1-5) 14位

青木 柊斗(1-3) 17位

大旗 玲至(1-7) 27位

・ビームピストル立射60発 田中 蓮(1-7) 6位

・女子個人

・エアライフル立射40発 石名 萌(1-7) 3位 (選抜全国大会出場)

・ビームライフル立射40発 石名 萌(1-7) 13位

・ビームピストル立射40発 坂田 光穂(1-1) 2位 (選抜全国大会出場)

自転車

鳥取県秋季自転車競技大会

・男子3kmインディビジュアル・パシュート 今井 純志(1-3) 15位

水 泳

鳥取県高等学校新人水泳競技大会

・男子団体 総合優勝

・男子リレー (中国大会出場)

・400mメドレーリレー 1位・400mフリーリレー 1位

・800mフリーリレー 1位

・男子個人 (中国大会出場)

・大崎 海翔(2-1)100mバタフライ 1位・200mバタフライ 1位

・本田 航平(2-1)100m平泳ぎ 1位・200m平泳ぎ 1位

・難波 将大(2-5)100m背泳ぎ 5位・200m背泳ぎ 3位

・山本 資(2-6)400m個人メドレー 2位・200m個人メドレー 6位

・大原 範之(1-1)1500m自由形 5位

・猪山 智久(1-3)100m背泳ぎ 2位・50m自由形 3位

・大西 翔(1-3)100mバタフライ 5位・200mバタフライ 3位

・田中 海地(1-4)100m平泳ぎ 3位・200m平泳ぎ 3位

・吉尾 祥(1-4)100m平泳ぎ 5位・200m個人メドレー 3位

・細田 賢汰(1-6)100m背泳ぎ 4位・200m背泳ぎ 2位

・女子団体 総合優勝

・女子リレー (中国大会出場)

・400mメドレーリレー 3位・400mフリーリレー 3位

・女子個人 (中国大会出場)

・岸本 麻央(2-4)400m個人メドレー 2位

200m個人メドレー 3位

・内田 英里(2-5)100m背泳ぎ 5位・200m背泳ぎ 5位

・小西 乃愛(2-6)100m平泳ぎ 4位・200m平泳ぎ 3位

・奥田 虹聖(1-3)400m個人メドレー 4位

200m個人メドレー 3位

・吉村 奈緒(1-4)100m平泳ぎ 2位・200m平泳ぎ 2位

・山本 菜月(1-6)100m自由形 1位・200m自由形 2位

・森田 紗和(1-7)400m自由形 5位・200m背泳ぎ 3位

第6回中国高等学校新人水泳競技選手権大会

・男子総合 8位

・男子リレー

・400mメドレーリレー 5位

本田 航平(2-1)・田中 海地(1-4)・大崎 海翔(2-1)・
猪山 智久(1-3)

・男子個人

本田 航平(2-1)100m平泳ぎ 1位・200m平泳ぎ 1位

・女子個人

山本 菜月(1-6)100m自由形 7位

運動部の大会結果

柔道

鳥取県高等学校柔道新人戦

- 男子団体 **優勝 (中国大会出場)**
- 73kg級 岡本 康佑(2-5) 2位
- 81kg級 小林 皓(1-7) **優勝**
- 山下 耕平(1-5) **ベスト8**
- 90kg級 小林 岳(2-1) **優勝**
- 100kg級 塩谷 丈(2-2) **優勝**
- 牧浦 太陽(1-4) 2位
- 100kg超級 南部 耕佑(2-6) 3位

第19回中国高等学校柔道新人大会

- 男子団体 3位
- 優秀選手賞 南部 耕佑(2-6)

陸上競技

第61回鳥取県高校新人陸上競技大会

- 男子団体
- 4×100mリレー 5位
- 梅津 泰士(1-2)・松本 和明(2-2)・米原 渉(1-4)・増田 貴也(2-6)
- 4×400mリレー 7位
- 米原 渉(1-4)・増田 貴也(2-6)・松本 和明(2-2)・黄金 勇佑(1-2)
- 男子個人
- 400m 増田 貴也(2-6) 3位
- 1500m 山下 直人(1-6) 5位 **(中国大会出場)**
- 白岩 成悟(1-5) 8位
- 5000m 出脇 汰一(1-6) 6位 **(中国大会出場)**
- 砲丸投 花田 篤則(2-6) 5位
- 女子団体
- 4×400mリレー 7位
- 國森 菜生(2-4)・浅田 海生(2-3)・水島 莉央(1-2)・濱橋 音波(1-5)
- 女子個人
- 400m 浅田 海生(2-3) 3位 **(中国大会出場)**
- 800m 浅田 海生(2-3) 2位 **(中国大会出場)**
- 800m 水島 莉央(1-2) 5位
- 1500m 西尾 香乃(2-1) 8位

第27回中国高等学校新人陸上競技対校選手権大会

- 5000m 出脇 汰一(1-6) 8位
- 800m 浅田 海生(2-3) 8位
- 第53回鳥取県高等学校総合体育大会駅伝競走
- 男子 4位 **(中国大会出場)**
- 女子 4位 **(中国大会出場)**
- 第60回中国高等学校駅伝競走大会
- 男子 24位
- 第32回中国高等学校駅伝競走大会
- 女子 24位

第53回鳥取県高等学校総合体育大会駅伝競走

- 男子 4位 **(中国大会出場)**
- 女子 4位 **(中国大会出場)**

第60回中国高等学校駅伝競走大会

- 男子 24位

第32回中国高等学校駅伝競走大会

- 女子 24位

バスケットボール

第73回国民体育大会中国ブロック大会バスケットボール競技

- 馬場 涼歌(3-5) **出場**
- 第85回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会鳥取県代表決定戦
- 女子 本校 43-56 H.J 1回戦敗退
- 第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会鳥取県予選会
- 男子 2回戦進出
- 第49回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会鳥取県大会
- 女子 3回戦進出(ベスト8)

バレーボール

全日本バレーボール高等学校選手権大会鳥取県大会

- 男子 2回戦進出
- 女子 2回戦進出

ソフトテニス

第54回鳥取県高等学校ソフトテニス新人戦東部地区予選会

- 男子団体 2位
- 男子個人
- 廣岡 賢(2-7)・坂本 篤祥(1-2) 7位
- 北尾 悠真(1-3)・國本 凌(1-5) 8位
- 女子団体 2位
- 女子個人
- 中田 汐音(2-1)・義仲布多葉(2-2) 2位
- 山下 優羽(1-3)・中村 朱里(2-5) 5位
- 荒西 花梨(2-4)・前島 志帆(2-7) 7位

第54回鳥取県高等学校ソフトテニス新人戦

- 男子団体 3位 **(中国大会出場)**
- 男子個人
- 北尾 悠真(1-3)・國本 凌(1-5) 5位
- 廣岡 賢(2-7)・坂本 篤祥(1-2) 9位
- 上田 佐(2-6)・小林 亮央(2-6) 9位

第44回鳥取県高等学校選抜ソフトテニス大会

- 男子団体 2位 **(全日本選抜中国地区予選会出場)**

鳥取県選抜ソフトテニスインドア選手権大会 高校の部

- 男子個人
- 廣岡 賢(2-7)・坂本 篤祥(1-2) 予選リーグ1位
- 上田 佐(2-6)・小林 亮央(2-6) 予選リーグ1位
- 女子個人
- 山下 優羽(1-3)・義仲布多葉(2-2) **優勝**

テニス

鳥取県高等学校テニス新人戦東中部地区予選大会

- 男子シングルス
- 山添 祥太(2-3) 3位
- 清水 基哉(2-7) 7位
- 女子シングルス
- 三木 和歌(1-6) 3位
- 岩井 彩香(2-3) 9位
- 女子ダブルス
- 茂木 梨花(1-1)・三木 和歌(1-6)組 2位
- 岩井 彩香(2-3)・戸田菜々香(2-5)組 4位

鳥取県高等学校テニス新人戦 個人の部

- 男子シングルス
- 橋川 蒼生(2-7) **優勝 (中国大会出場)**
- 山添 祥太(2-3) **ベスト16 (中国大会出場)**
- 男子ダブルス
- 山添 祥太(2-3)・橋川 蒼生(2-7)組 **準優勝 (中国大会出場)**
- 女子シングルス
- 三木 和歌(1-6) 19位 **(中国大会出場)**
- 岩井 彩香(2-3) 24位

鳥取県高等学校テニス新人戦 団体の部

- 男子団体 3位
- 女子団体 **ベスト8**
- 中国高等学校新人テニス大会
- 男子シングルス
- 山添 祥太(2-3) 1回戦敗退
- 女子シングルス
- 三木 和歌(1-6) 1回戦敗退

野球

秋季鳥取県高等学校野球大会

- 1回戦敗退

卓球

鳥取県高等学校卓球新人戦大会

- 男子団体 **ベスト8**
- 女子ダブルス
- 榎 琴音(2-7)・高田 茜(2-2)組 **ベスト8**
- 女子シングルス
- 榎 琴音(2-7) 3位

バドミントン

鳥取県高校新人バドミントン選手権大会東部地区予選会

- 男子ダブルス
- 萩原成生斗(2-5)・蔵内 亮太(2-6)組 **ベスト8**
- 浦島 直斗(2-6)・八間 竜哉(1-5)組 **ベスト16**
- 女子ダブルス
- 井本 珠実(2-4)・門脇 悠(1-6)組 4位
- 遠藤 花(2-2)・山口 紗季(2-4)組 **ベスト16**
- 美谷 晴香(1-2)・山根 圭央(1-1)組 **ベスト16**

鳥取県高校新人バドミントン選手権大会

- 男子団体 2回戦進出
- 男子ダブルス
- 萩原成生斗(2-5)・蔵内 亮太(2-6)組 2回戦進出
- 男子シングルス
- 蔵内 亮太(2-6) 2回戦進出
- 女子団体 2回戦進出
- 女子ダブルス
- 井本 珠実(2-4)・門脇 悠(1-6)組 3回戦進出(ベスト16)
- 女子シングルス
- 門脇 悠(1-6) 1回戦敗退

ボート

第30回全国高等学校選抜ボート大会鳥取県予選会

- 男子舵手付クオドルブル **優勝 (中国大会出場)**
- 山本 武蔵(2-1)・前田 開(2-2)・中村 晴人(2-6)・博田 凌太(2-6)・廣谷 颯己(1-2)
- 男子ダブルスカル
- 中谷 怜央(2-3)・下田 凌裕(2-4)組 **優勝 (中国大会出場)**
- 男子シングルスカル
- 日下部怜央(2-5) **優勝 (中国大会出場)**
- 谷村 映季(1-2) 2位
- 女子舵手付クオドルブル **優勝 (中国大会出場)**
- 田中 歩美(2-1)・渡辺 英奈(2-3)・中谷 萌華(2-4)・谷口こうめ(2-6)・中谷 美玖(2-7)
- 女子ダブルスカル
- 西垣 実玖(2-7)・西尾 杏(1-3)組 5位
- 女子シングルスカル
- 大原 夏花(1-5) 4位

第30回全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会

- 男子舵手付クオドルブル 3位 **(全国大会出場)**
- 山本 武蔵(2-1)・前田 開(2-2)・中村 晴人(2-6)・博田 凌太(2-6)・廣谷 颯己(1-2)
- 男子ダブルスカル
- 中谷 怜央(2-3)・下田 凌裕(2-4)組 5位
- 男子シングルスカル
- 日下部怜央(2-5) 4位
- 女子舵手付クオドルブル 2位 **(全国大会出場)**
- 田中 歩美(2-1)・渡辺 英奈(2-3)・中谷 萌華(2-4)・谷口こうめ(2-6)・中谷 美玖(2-7)



部活を通じて

二年保護者 博田希美子
県外から引っ越しをしてきて、親としては、馴れない環境でいじめられないか？友達と馴染む事ができるのか？不安だらけでした。

三才の頃から、色々なスポーツをしていたので、自信があったボート部に入部。しかし思っていた以上に練習が体にこたえ、帰ってきたらすぐに寝てしまします。一番辛かったのが、手のひらの皮が剥けて火傷のようにひりひりして、箸も持つ事が出来ないこともありました。その痛さに何度も心が折れかかりました。

そんな時、先輩方から、技術面、精神面での色々なアドバイスを受け、先輩に追いつき追いつく一心で二年生後半、ここまで続けて来られたのだと思います。その結果、国体にも出させて頂いたのは、本人にとって、一生の宝になりました。

部活を通じて、ここまで成長出来たのも、先生方を始め、先輩、後輩、同級生のおかげと感謝しております。

今日も楽しんでね

二年保護者 大崎 寛子
毎朝、息子が学校に行く時に声をかけている言葉です。

東高に入学して、もう二年生の秋になってしまいました。楽しい時間はあっという間。毎日充実しているからか学

校に行くのが本当に楽しそうです。

憧れの東高へ向けて毎日たくさん勉強していた頃のサイクルを守り、学校が終われば塾へ行き、遅くまで勉強する。今も続けているその姿を誇らしく思います。

東高は課題が多い。入学時から覚悟していた事でしたが、それは将来の夢への選択肢をたくさんの中から選ばせてくれるミッションだと思い、取り組みでいました。そんな課題にサブタイトルが付いている。とか笑いを入れてくれるのりの良い先生！素敵です。また、イベントが楽しすぎる東高。皆の将来に向けて全力で取り組んでくれる先生がいる東高。見る私は本当に楽しくて、学校のイベントがあれば出来るだけ参加しています。

そんな今しかできない事をたくさん経験して欲しいです。勉強も、遊びも、全部楽しんで欲しいです。後悔しないように、自分の思った通りにやりきって欲しいです。

人生一度きり。

まだまだこれからたくさん選択をすることが出来るみんなは無数の可能性を秘めています。羨ましい！。

将来の夢に向かって今はしっかりと努力の時。家族皆で一緒にサポートするから頑張ろう。

さあ、今日も一日楽しんで来てね。

我が子へ

二年保護者 渡辺 志保

「東高に入って弓道をする。」と言って東高に入学した我が子ですが、なぜかボート部に入ると言い出し、「なぜボート部？弓道する為に東高に入ったんじゃないの？」と何度も確認しましたが彼女の意志は固く、ボート部に入部しました。もともと体力がない上に、急にハードな部活に入って、本当に大丈夫なのだろうか心配しましたが、本人がやりたいと言うのだから仕方ないと見守ることにしました。が、本音を言えば、母はあなたの姿勢が見たかつ

た...

慣れない学校生活、ハードな部活で帰宅する時間は遅く、毎日ぐったりしている姿を見るとやはり本当にこれだ良かったのだらうかと悩む日々でした。しかし持ち前の負けず嫌いな性格で、なんとか練習にもついていき、疲れてはいませんが、学校や部活であったことを楽しそうに話す姿を見ていると、友達にも先輩にも恵まれて、本当に東高を選んで良かったなと思っています。そして何より、「今日、校長先生と話した。」とか、「学年主任と大学のこと話した。」と聞いてすごく驚きました。こんなに気さくに校長先生や学年主任が、部活のことや将来のことについて話しかけてくださるなんて、自分が高校生の時では考えられないことでしたが、信頼できる大人がたくさんいることは、子どもにとっても良い影響を与えてくれていると感謝しています。

私自身、子どものおかげで様々な経験をすることができ、人として、親として色々と成長させてもらいました。そして、周りの人達にたくさん助けてもらいながら子育てをしてきました。今まで関わってくださった方々のおかげでここまでやってこられたと思っています。親として出来ることは限られていますが、残り約一年半、周りの人達への感謝の気持ちを忘れず、部活に勉強に学校生活を悔いなく思いっきり楽しんで欲しいと思っています。

息子の部活動を通して

二年保護者 砂場 路子

「修学旅行よかったわ。」

満面の笑みを浮かべながら息子が帰ってきた。家族、友達そしてサッカー部へのお土産を広げて見せてくれた。充実した旅だったことが伺える。そして、旅行先でも、すぐに始まる選手権に向けて、朝ランニングをする等、自主トレにも励んだことを教えてくれた。その、明日から選手権がスタートするのだ。サッカーをしている高校生にとっては大事な試合の一つである。引退し

た先輩、続行している先輩の思いも背負って、明日から選手権がスタートする会場では、たくさん保護者が東高Tシャツを着て観戦していた。もう、このTシャツを着ているだけで仲間意識が生まれる。子ども達のプレーに一喜一憂しながら応援をする保護者達。私もいつの間にか大声でしゃべっていた。「もう一点。」

私は、息子の部活動を通してたくさん保護者と出会うことができた。一緒に笑ったり、涙したり、手を取り合ったり。高校になると保護者同士のつながりを持つというところは難しくなる。しかし、この、息子の部活動のおかげで、仲間とつながれたことが、私の保護者生活を充実させてくれた。

さあ、明日の対戦は強豪東北。明日も力いっぱい応援しよう。東高Tシャツを着て。

子どもとともに...

二年保護者

高校へ入学して、早くも二年目の後半となりました。多くの友達や素晴らしい先生方に出会い、学校生活、部活動ともに日々充実した高校生活を送っているように感じます。きつとこれまでの過程には、苦しい日々も経験しているでしょう。様々な経験があつて今の自分があり、学校生活の中で中心となっている二年生の姿は本当に頼もしく思っています。

将来について考えなければいけない？まだはっきり見えていない中、一人の先生が、「お母さんが高校生のとき、何か将来の夢に向かって目標が決まっていたか？大学に入ってから見つけても遅くない。どんな職業でも自分で学んだことは必ず役にたつ。」その言葉で、今、こうでなければいけない。という固定概念をなくし、心がすっきりしました。勿論、夢や目標に向かっている人たちの姿もとても頼もしいです。子どもは様々な経験をし、学び成長していく中、私たち親は良い環境を整え、

自分しか証人のいない試練

二年保護者

ある日息子の部屋で、何となく机の上に置かれていた一枚の紙が目に残りました。

「自分を試練にかけよう。人知れず、自分しか証人のいない試練に。」フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェによる名言が書かれたもので、聞けば学校からいただいたもののようでした。

この言葉の意味を高校生の息子はどのように感じたのだろうかと思いました。自分に厳しく生きる、多くの試練に打ち勝つことで本物の自尊心を得ることができ、自信につながり、やがて自分の人生における褒美となる。なるほど、自分を成長させるといことはまさにこういうことだとならためて思いました。息子にも、日々の努力なしでは思うような結果は得られないということとを常に忘れないで欲しいです。

2020年のオリンピックでは同じ年代の選手が活躍が多く見られることでしょう。その頃自分はもうどうしているのか、少しでも理想の自分に近づけるよう、この三年間の高校生活が充実したものになってくれることを期待しています。

鳥東高通信175号に写真、原稿等でご協力いただいた皆さまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

文化広報部一同